

第24期全国縦断サイエンスカフェ一覧

全国縦断No.	日時	地域	開催場所	講師	テーマ	参加人数
7	10月13日(金) 18:00～20:00	愛媛	松山アーバンデザインセンター	挨拶: 清水 誠さん (日本学術会議連携会員) 講師: 奥山 聡さん (松山大学薬学部准教授) 菅原 卓也さん (愛媛大学大学院農学研究科教授)	「みかんを食べて健康になろう～柑橘成分の健康効果～」	25名
8	2月9日(金) 18:30～20:00	北海道	三省堂書店札幌店ブックス&カフェUCC (札幌市中央区北五条西2-5JRタワー札幌ステラプレイス5F)	講師: 寶金 清博さん (北海道大学大学院医学研究院・教授／北海道大学病院・病院長) ファシリテーター: 川本 思心さん (北海道大学理学研究院／CoSTEP・准教授)	「先端医療はどこへ向かうのか～センスオブワンダーとセンスオブエシックスを問う～」	30名
9	2月10日(土) 15:00～16:10	東京	三省堂書店神保町本店2階UCCカフェコンフォート (東京都千代田区神田神保町1-1)	講師: 丸山 潤一さん (東京大学大学院農学生命科学研究科・特任准教授) 挨拶: 清水 誠さん (東京農業大学 教授・日本学術会議連携会員) 司会: 西川 拓さん (毎日新聞社 科学環境部)	「和食の味を彩る麹菌、その知られざる姿と未来」	25名
10	3月3日(土) 15:00～17:00	沖縄	ジュンク堂書店那覇店 (沖縄県那覇市牧志1-19-29 D-NAHA地下1階～3階)	講師: 木村 亮介さん (琉球大学医学研究科准教授) 徳永 勝士さん (東京大学医学研究科教授・日本学術会議連携会員) コメンテーター: 太田 博樹さん (北里大学・医学研究科准教授) 進行: 竹沢 泰子さん (京都大学人文科学研究所教授・日本学術会議連携会員)	「DNAからみる集団と個 ～沖縄、日本、アジアを例として～」	35名

11	2月24日 (土) 15:00～ 17:15	京都	京都ペレット 町家ヒノコ (京都市中京 区寺町通二条 下ル榎木町 98-7)	講師: 八田 一さん (京都女子大学 教授) 挨拶: 佐藤 文彦さん (京都大学 教授・日本学術会議連携会 員)	「エッグサイティング！卵の可 能性」	12名
12	6月2日 (土) 15:00～ 17:00	広島	竹鶴酒造株 式会社 (広島県竹 原市本町3 丁目10番29 号)	講師: 伊豆 英恵さん (独立行政法人酒類総合研究所 主任研 究員) 宮川 都吉さん (広島大学名誉教授) 挨拶: 稲垣 賢二さん (岡山大学教授・日本学術会議連携会 員)	「マッサンの故郷でお酒に まつわるサイエンスに触れ よう」	-

日本学術会議サイエンスカフェ提案書

申請日：2017 年 8 月 13 日

申請者： 清水 誠（日本学術会議会員・農芸化学分科会委員）

1. 日 時： 2017 年 10 月 13 日（金）18 時～20 時
2. 場 所： 松山アーバンデザインセンター（愛媛県松山市湊町 3 丁目 7 番地 12）
3. 関係団体： 日本農芸化学会，愛媛大学地域創成研究センター「まちなか大学」
4. 申請者の役割： 挨拶
5. 題目： サイエンスカフェ in 松山
「みかんを食べて健康になろう ～柑橘成分の健康効果～」
6. 内容：
挨拶：清水 誠（東京農業大学 教授・日本学術会議会員）
講師・講演題目：
奥山 聡（松山大学 准教授）
「河内晩柑果皮の脳機能に及ぼす影響について」
菅原 卓也（愛媛大学 教授）
「橘果皮成分の抗アレルギー効果と機能性食品開発について」
7. 参加費： 無料
8. 参加予定人数： 20 名
9. 連絡担当者：
氏名：熊谷日登美（日本大学教授・学術会議連携会員、農芸化学分科会委員）
電話番号： 0466-84-3946
メールアドレス： kumagai@brs.nihon-u.ac.jp

全国縦断サイエンスカフェとしてのナンバリングを

☐ 希望する

☐ 希望しない

※どちらかに丸をつけてください

サイエンスカフェの概要について（事後報告）

1. 開催日時：平成29年10月13日（金） 18時～20時

2. 開催場所：松山アーバンデザインセンター（愛媛県松山市湊町3-7-12）

3. 関係団体等：

主催：（公益社団法人）日本農芸化学会

共催：愛媛大学地域創成研究センター「まちなか大学」

日本学術会議農芸化学分科会

4. 役割

挨拶：清水 誠（東京農業大学、日本学術会議連携会員）

話題提供者（講演者）：話題1：奥山聡（松山大学薬学部）

話題2：菅原卓也（愛媛大学大学院農学研究科）

ファシリテーター（司会者）：寺谷亮司（愛媛大学・地域創成研究センター）

5. 概要：

講演1では奥山 聡氏が「河内晩柑果皮の脳機能に及ぼす影響について」と題して柑橘類に含まれる成分の摂取がマウスの学習機能や記憶機能を改善することを紹介し、参加者全員が脳の仕組みと食の関わりについて理解を含めることができた。また、講演2では菅原 卓也 氏が「柑橘果皮成分の抗アレルギー効果と機能性食品開発について」と題して柑橘類のフラボノイド類が免疫系を調節する仕組みについて紹介し、さらに基礎研究の結果をどのようにして製品開発につなげるかについてわかりやすく解説した。会場には企業の方々も多く、大学との連携の在り方などについても活発な質疑が行われた。

6. 参加人数：

講演者等：4名

その他の参加者：約25名

7. 特記事項：

なし

日本学術会議サイエンスカフェ提案書

申請日：平成 29 年 12 月 15 日

申請者（会員、連携会員）：寶金 清博（会員）

1. 日 時：平成 30 年 2 月 9 日（金）18:30～20:00
2. 場 所：三省堂書店札幌店ブックス&カフェ UCC
3. 関係団体：三省堂書店札幌店、北海道大学 CoSTEP、日本学術会議北海道地区会議
（開催に関係する（費用負担含む）団体をすべて明記してください）
4. 申請者の役割：講師
（挨拶、司会、講師、その他（具体的に記入）の中から該当するものを選んで下さい）
5. 題目（仮題）：先端医療はどこへ向かうのか～センスオブワンダーとセンスオブエシックス
を問う
6. 内容：添付のプログラムを参照のこと
（出演される方全員の氏名・所属・役職を明記してください。もし参考資料等があれば、
添付してください）
7. 参加費：500 円（コーヒー・茶菓子代として）
8. 参加予定人数：30 名
9. 連絡担当者：
（事務局から問い合わせをする可能性があるので、連絡できる方を明記してください）
氏名（所属・役職）三浦 司（北海道大学研究推進部研究振興企画課総務担当）
電話番号 011-706-2155
メールアドレス suishin@general.hokudai.ac.jp

全国縦断サイエンスカフェとしてのナンバリングを

☒ 希望する

☐ 希望しない

※どちらかに丸をつけてください

サイエンスカフェの概要について（事後報告）

1. 開催日時：平成 30 年 2 月 9 日（金） 18 時 30 分～20 時 00 分
2. 開催場所：三省堂書店札幌店 BOOKS & CAFE (UCC)
(札幌市中央区 北五条西 2-5JR タワー札幌ステラプレイス 5F)
3. 関係団体等：三省堂書店札幌店、北海道大学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP)、日本学術会議北海道地区会議
4. 役割
司会：川本思心（北海道大学理学研究院／CoSTEP 准教授）
講師：實金清博（北海道大学医学研究院 教授）
5. 概要：
題目：「先端医療はどこへ向かうのか ～センスオブワンダーとセンスオブエシックスを問う～」
概要：まず 45 分間、講師が、脳・精神への介入、遺伝子への介入を可能にした先端医療の現状だけではなく、優生学や保安処分など過去に様々な問題も引き起こした事例についても紹介した。その後、10 分間の休憩時間で、来場者に質問を書いて頂いた。後半 25 分はその質問をもとに、講師と来場者が質疑・対話を行った。社会や将来世代に大きな不可逆的変化が起こるのではないか、そのような介入の方向は、経済的、思想的背景により一方向へ向かってしまうのではないか、「病気」は本当にすべて治すべきものなのか、一方で目の前の患者さんをどうするのか、できることはすべきではないのか、といった先端医療の二面性について議論し、サイエンスカフェは盛況のうちに終了した。
6. 参加人数：
講演者等：7 名（講師 1 名、司会 1 名、会場支援 4 名、動画撮影 1 名）
※その他給仕スタッフあり
その他の参加者：30 名
内訳：10 代 2 名、20 代 6 名、30 代 5 名、40 代 4 名、50 代 5 名、60 代 8 名
最多層は 20 代女性 5 名
7. 特記事項：
北海道医療新聞（週刊専門紙）の取材を受けた。2018 年 2 月 15 日に記事掲載（予定）。

日本学術会議サイエンスカフェ提案書

申請日：2017 年 12 月 14 日

申請者： 清水 誠（日本学術会議連携会員・農芸化学分科会委員）

1. 日 時： 2018 年 2 月 10 日（土）15 時～16 時 10 分
2. 場 所： 三省堂書店神保町本店 2 階UCCカフェコンフォート
（〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-1）
3. 関係団体： 日本農芸化学会，三省堂
4. 申請者の役割： 挨拶
5. 題目： 第 109 回農芸化学サイエンスカフェ
6. 内容：

挨拶：清水 誠（東京農業大学 教授・日本学術会議連携会員）

司会：西川 拓（毎日新聞社 科学環境部）

講師・講演題目：

丸山 潤一（東京大学大学院農学生命科学研究科・特任准教授）

「和食の味を彩る麹菌，その知られざる姿と未来」

7. 参加費： 500 円（カフェで提供する飲料費）
8. 参加予定人数： 25 名
9. 連絡担当者：
氏名：熊谷日登美（日本学術会議第二部会員・農芸化学分科会委員）
電話番号： 0466-84-3946
メールアドレス： kumagai@brs.nihon-u.ac.jp

全国縦断サイエンスカフェとしてのナンバリングを

☐ 希望する

☐ 希望しない

※どちらかに丸をつけてください

サイエンスカフェの概要について（事後報告）

1. 開催日時：平成 30 年 2 月 10 日（土） 15 時 00 分～16 時 20 分

2. 開催場所：三省堂書店 神保町本店(UCC カフェコンフォート)
(東京都千代田区神田神保町 1-1)

3. 関係団体等：(公益社団法人) 日本農芸化学会、三省堂書店

4. 役割

挨拶：清水 誠（東京農業大学、日本学術会議連携会員）

司会：西川 拓（毎日新聞社科学環境部）

講師：丸山 潤一（東京大学大学院農学生命科学研究科准教授）

5. 概要：

農芸化学サイエンスカフェは、食糧・環境・健康など身近な生命科学の課題について、(公益社団法人) 日本農芸化学会が 2006 年から全国で実施している市民啓発活動である。今回のサイエンスカフェは、三省堂書店が実施しているサイエンスカフェと共同で開催したもので、「和食の味を彩る麹菌、その知られざる姿と未来」というタイトルのもと、身近な微生物である麹菌に関する話題が取り上げられた。麹菌とは何か、それが社会の中でどのように役立ってきたか、今後どのような新しい利用が考えられるのかという点について、人文科学的視点から最新の分子生物学的視点まで、幅広い切り口で話題提供がなされ、ヒトと麹菌の関わりの歴史、麹菌の多様性の仕組み、新しい製品開発のポテンシャルなどについて活発な質疑が行われた。

6. 参加人数：

講演者等：3 名

その他の参加者：25 名

7. 特記事項：

内容の一部については、毎日新聞が記事化することを検討している。

日本学術会議サイエンスカフェ提案書

申請日：2018 年 1 月 11 日

申請者：竹沢 泰子

1. 日 時：2018 年 3 月 3 日（土） 15：00-17：00
2. 場 所：ジュンク堂書店 那覇店
住 所：沖縄県那覇市牧志 1-19-29 D-NAHA 地下 1 階～3 階 TEL：098-860-7175
3. 関係団体：共催 日本学術会議自然人類学分科会
京都大学人文科学研究所 科学研究費基盤研究（S）
「人種化のプロセスとメカニズムに関する複合的研究」
4. 申請者の役割：進行
5. 題目：「DNA からみる集団と個 ～沖縄、日本、アジアを例として～」
6. 内容： 講師：木村亮介（琉球大学医学研究科准教授）
徳永勝士（東京大学医学研究科教授・日本学術会議連携会員）
コメンテーター：太田博樹（北里大学・医学研究科准教授）
進行：竹沢泰子（京都大学人文科学研究所教授・日本学術会議連携会員）
7. 参加費：無料
8. 参加予定人数：40 人程度
9. 連絡担当者：竹沢泰子（京都大学人文科学研究所・教授）
TEL：075-753-6915
e-mail：yasuko@zinbun.kyoto-u.ac.jp

全国縦断サイエンスカフェとしてのナンバリングを

☒ 希望する ☐ 希望しない

※どちらかに丸をつけてください

サイエンスカフェの概要について（事後報告）

1. 開催日時：平成 30 年 3 月 3 日（土） 15：00-17：00

2. 開催場所：ジュンク堂書店 那覇店

3. 関係団体等：京都大学人文科学研究所
科学研究費基盤研究（S）「人種化プロセスとメカニズムに関する複合的研究」

4. 役割

進行： 竹沢泰子（京都大学人文科学研究所教授・日本学術会議連携会員）

講師： 木村亮介（琉球大学医学研究科准教授）

徳永勝士（東京大学医学研究科教授・日本学術会議連携会員）

コメンテーター： 太田博樹（北里大学・医学研究科准教授）

5. 概要：

「DNA からみる集団と個 〜沖縄、日本、アジアを例として〜」というタイトルで講師二人、コメンテーター一人が話題提供をした。琉球大学の木村亮介氏は、沖縄の人々の起源と沖縄の人々の顔立ちからわかると考えられる遺伝的特徴について説明し、続いて東京大学の徳永勝士氏が、病気に関わる遺伝子の分布にみられる個人差と集団差、地域差について説明した。両氏の話を受けて北里大学の太田博樹氏がコメントをした。それぞれの話題提供のあとフロアから質問を受け付け、後半は自由討論とした。沖縄島や八重山諸島の人々と台湾・本土との関係や、港川人と現代の沖縄の人々との関係、差異と共通性、多様性について科学者がいかに社会に伝えるべきかなどをめぐり、活発な討論がフロアの参加者との間で交わされた。

6. 参加人数：

講演者等：4 名

その他の参加者：35 名

7. 特記事項：

琉球大学医学部の石田肇教授をはじめ関係者には現地で大変お世話になった。

日本学術会議サイエンスカフェ提案書

申請日：2018 年 2 月 15 日

申請者： 佐藤 文彦（日本学術会議連携会員・農芸化学分科会委員）

1. 日 時： 2018 年 2 月 24 日（土）15 時～17 時 15 分
2. 場 所： 京都ペレット町家ヒノコ（京都市中京区寺町通二条下ル榎木町 98-7）
3. 関係団体： 日本農芸化学会，京都カラスマ大学
4. 申請者の役割： 挨拶
5. 題 目： サイエンスカフェ in 京都
「エッグサイティング！ 卵の可能性」
6. 内 容：
挨拶：佐藤 文彦（京都大学 教授・日本学術会議連携会員）
講師：八田一（京都女子大学 教授）
母乳に匹敵する良質なタンパク質源であり、食べておいしく、健康にもよいと 3 拍子そろった食品鶏卵について、八田先生の 40 年にわたる鶏卵の栄養・調理・健康機能に関する研究成果とともに、鶏卵のまだまだ解明されていないたくさんのエッグサイティングな研究テーマを若い生徒さんと語り合っていただきます。
7. 参加費： 500 円
8. 参加予定人数： 20 名
9. 連絡担当者：
氏名：熊谷日登美（日本大学教授・学術会議会員、農芸化学分科会委員）
電話番号： 0466-84-3946
メールアドレス： kumagai@brs.nihon-u.ac.jp

全国縦断サイエンスカフェとしてのナンバリングを

希望する

希望しない

※どちらかに丸をつけてください

サイエンスカフェの概要について（事後報告）

1. 開催日時：2018 年 2 月 24 日（土）15 時～17 時 15 分
2. 開催場所：京都ペレット町家ヒノコ（京都市中京区寺町通二条下ル榎木町 98-7）
3. 関係団体等：日本農芸化学会、京都カラスマ大学

4. 役割

挨拶：佐藤 文彦（京都大学 教授・日本学術会議連携会員）

司会：木岡則行

5. 概要：

【講師】八田一（京都女子大学 教授）

【題目】「エッグサイティング！ 卵の可能性」

【内容】

母乳に匹敵する良質なタンパク質源であり、食べておいしく、健康にもよい卵であるが、我々の知らない卵の性質を八田先生の40年にわたる研究成果とともに、面白く学習した。まず、コロンブスの卵でなくとも卵が立つという目から鱗が落ちる話にまず、みんな驚いた。このあと、卵の性質から、如何にして、逆温泉卵をつくるのか、また、料亭卵や君返し卵が如何に再現されたのかという話を大変楽しくお聞きした。さらに、実際に黄身返し卵をつくる実験を行った。ゆで卵を作る間、卵からワクチンができるという最先端の研究についてもお話をお聞きし、卵研究の奥の深さに参加者一同感激した。実際に、黄身返し卵の出来不出来に盛り上がるとともに、質疑応答が行われ、卵の科学の理解が深まった半日となった。

6. 参加人数：

講演者等：8 名（講演者、司会者、挨拶、実験補助者等）

その他の参加者：12 名

7. 特記事項：

特になし

日本学術会議サイエンスカフェ提案書

申請日：2018 年 2 月 28 日

申請者： 稲垣 賢二 （日本学術会議連携会員・農芸化学分科会委員）

1. 日 時： 2018 年 6 月 2 日（土）15 時～17 時
2. 場 所： 竹鶴酒造株式会社（広島県竹原市本町 3 丁目 10 番 29 号）
3. 関係団体： 日本農芸化学会
4. 申請者の役割： 挨拶
5. 題目： サイエンスカフェ in 広島
「マッサンの故郷でお酒にまつわるサイエンスに触れよう」
6. 内容：
挨拶：稲垣賢二（岡山大学 教授・日本学術会議連携会員）
講師・講演題目：
伊豆 英恵（独立行政法人酒類総合研究所 主任研究員）
「人類の飲酒の起源と進化」
宮川 都吉（広島大学 名誉教授）
「古くて新しい微生物「酵母」」
7. 参加費： 200 円
8. 参加予定人数： 20 名
9. 連絡担当者：
氏名：稲垣 賢二（岡山大学 教授・学術会議連携会員，農芸化学分科会委員）
電話番号： 086-251-8299
メールアドレス： kinagaki@okayama-u.ac.jp

全国縦断サイエンスカフェとしてのナンバリングを

☐ 希望する

☐ 希望しない

※どちらかに丸をつけてください